



# NET WORK

会員会社紹介 Vol.50

お客様のニーズを的確に捉え、  
タイムリーな輸送価値を提供

西武拝島線武蔵砂川駅から車で10分。旧日産村山工場と横田基地の間あたりに、今回うかがう東洋ポデーがあった。正門横の「ISO認証取得」の門柱に出迎えられ、門をくぐった。

取材 / (社)日本自動車車体工業会 事務局次長 瓜谷優一

## 特徴 沿革

トラックリヤポデーを半世紀にわたり生産している(株)東洋ポデー。1952(昭和27)年に東京三鷹で創業を開始し、トラック荷台製造を始める。1972年に本社、工場を現在の武蔵村山市に移転する。それと同時に「アニオン電着」を開始、小型車両専用の量産工場として生まれ変わる。

その後も大中型専用架装工場、特装車専用架装工場を新設、1981年には鉛フリーの「カチオン電着塗装」の稼働も始まり、お客様のニーズに合わせた生産体制を整えていった。

トラックリヤポデーの生産でお客様から高い信頼を得ていた1987年、「航空機用タイヤ交換車」の

生産を開始する。これは飛行場で航空機のタイヤを交換するための専用車で、世界初のタイヤ交換車となった。この交換車は20年以上たった今でも生産を続け、飛行場で活躍している。

同社は、TAMA産業活性化協会の会員でもある。この協会は、経済産業省が推進する「産業クラスター計画」の1つである地域活性化プロジェクトの首都圏西部ネットワーク支援活動の推進組織であり、新しい技術への取組み、人材育成などを会員企業と産学官との連携で進めている。

(株)東洋ポデーでは、これまで架装ポデーの軽量化への取組み、インターンシップ受入などに参加、今年からはCAD/CAMデータ

を統一言語XMLにて外部との受発注をEDI化するプロジェクトを立ち上げる活動を始めた。

これからも短納期、低コストで、高品質な製品をお客様に提供できるよう、新しい技術、知識を積極的に取り込んでいきたいという。

産業クラスター：特定分野の関連企業、大学等の関連機関等が地域で競争しつつ協力して相乗効果を生み出す状態をいう。クラスターとは「ブドウの房」の意。



## 株式会社 東洋ポデー

DATA

本社

東京都武蔵村山市伊奈平2-42-1

TEL 042-560-2111

FAX 042-560-2110

資本金 4,800万円

従業員 約100名

事業所規模

敷地 約 24,000㎡

工場 8,000㎡

車体工業会加入

1973年(トラック部会)



代表取締役社長  
中條 守康

## 製品

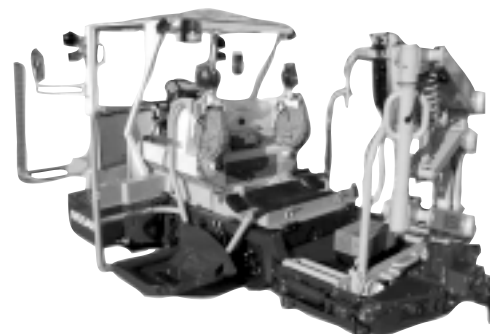
御社で製作している主力製品についてお聞かせ下さい

中條社長 創業以来、製造している木製平ポデー(1トン~9トン)を中心として、個別お客様向け一品仕様平ポデー、産業機械(フォークリフト)部品や清涼飲料水を配送するボトルカー等の開発から生産、販売まで行っています。

コンピュータでのシステム構築にも力を入れているとかがっていますが、どのように活用されているのでしょうか。

1990年に「ATMS稼働」とし

### 航空機用タイヤ交換車



航空機のタイヤ、ブレーキ交換用の専用車。200kgのタイヤ交換を作業員1人でできる



1台、1台組み付けられていく車体



2カ月間のインターンシップで研修中の学生。ここでの経験は、今後就職活動の参考となる

## NET WORK

て生産管理システムの構築に着手しました。

その2年後に発注元の要求が大きく変化し、確定受注へと切り替わり、中間仕掛かりを作っておけなくなったのです。

そこで「NEW-ATMS」を稼働し、受注から納品までイントラ上で指示、確認ができるシステムに切り替えました。

「NEW-ATMS」稼働に伴い、工場ではNCパンチャーとNCリベッターを取り入れ、トラック1台分の台枠、煽りを一発処理で組み付けることが可能となりました。

納期も短縮され、お客様の要求にも応えられる生産体制となっています。

### アルミゲート



アルミ製煽りなので、軽量でリサイクル性が高い。煽りの高さは50mmおきに調整が可能

### 木製平ポデー



フローア、ゲート木製内張り仕様。キャブ色に合わせた焼付塗装が可能

### サイドスライドバン



飲料水運搬車として最適なバン。アルミを多使用することで、軽量でリサイクル性向上という環境に配慮した製品

## 人

御社従業員の仕事に対する取組みで特徴的なことは?

「2日間改善」と称し、職場単位での改善活動を行っています。名前のおり、自分たちで掲げた改善目標を2日間で集中的に取組み、改善していく活動です。

この結果は、月初めの全体朝礼で全社員に報告します。

次世代教育について、御社ではどうされていますか?

入社と同時に会社の仕組みに接し理解してもらうため、「方針管理」を導入しています。

会社方針、部門方針を説明した上で、個人別実行計画を策定しま

す。この計画を実行していく中で、会社生活に慣れもらい、協調性なども育てていきます。先輩社員とのコミュニケーションも図れ、当社への定着率も高いものとなっています。

その他若手の育成で力を入れていることはありますか?

インターンシップで学生を受け入れています。6年目となる今年

は、3名を受け入れられました。最初は社会貢献で始めたのですが、学生の指導役を務める当社社員自らが勉強し、教えることで喜びに繋がり、その喜びが社員の成長にも繋がっており、無形の効果が出ています。